

9月21日は認知症の日です 世界アルツハイマーデー

国際アルツハイマー病協会は、世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」とし、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、認知症についての普及啓発を実施しています。日本でも、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において、9月21日を「認知症の日」とし、9月を「認知症月間」とすることが定められ、アルツハイマー病をはじめとする認知症に関する認識を高め、認知症の人と家族に援助と希望をもたらすことを目的に、普及啓発などに取り組んでいます。

問合せ 長寿いきがい課 TEL 89・5355

古い認知症観

（他人ごと、問題重視、疎外、絶望）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ①他人ごと、目をそらす、先送り | ⑤危険重視 |
| ②認知症だと何もわからない、できなくなる | ⑥周囲が決める |
| ③本人は話せない／声を聞かない | ⑦本人は支援される一方 |
| ④おかしい言動で周りが困る | ⑧認知症は恥ずかしい、隠す |
| 社会的負担 | ⑨地域で暮らすのは無理 |
| | ⑩暗い、萎縮、あきらめ、絶望的 |

新しい認知症観

（わがこと、可能性重視、ともに、希望）

- | | |
|---|--------------------------|
| ①わがこと、向き合う、備える | ⑥本人が決める（決められるような支援） |
| ②わかること、できることは豊富にある | ⑦本人は支え手でもある。「ともに」ある、支え合う |
| ③本人は声（サイン）を出せる／声を聴く | ⑧認知症でも自分は自分、オープンに |
| ④本人が認知症バリアの中で一番困っている バリアをなくし、暮らしやすい地域を創る先駆け | ⑨地域の一員として暮らし、活躍 |
| ⑤あたりまえのこと（人権）重視 | ⑩楽しい、のびのび、あきらめず、希望を |

出典 令和5年1月 認知症地域支援体制整備全国合同セミナー資料

9月18日(木)～30日(火)

イベント案内

認知症に関する情報などをパネルで紹介、認知症サポーターやキャラバン・メイトの活動、認知症の人やご家族の声、介護サービス利用中の認知症の人の作品や声などを展示します。

▶場所 本庁舎市民ギャラリー、イオンタウン能代

認知症サポーターがチームを組んだ「チームオレンジ」が活動しています！

チームオレンジ「遊」

趣味・健康活動を楽しみながら、身の回りの困り事、健康や介護についてなど気軽に話し合える場です。



▶開催日 毎週水曜日13時～16時

▶場所 元町オレンジカフェ(元町4-1)

▶問合せ TEL080-1676-9846(代表・櫻田)

チームオレンジ「しゃんしゃん」

健康を維持するために楽しく元気に活動をしています。興味がある方、一緒に活動しませんか。



▶開催日 毎週火曜日10時～11時30分

▶場所 サンピノ ▶会費 800円／月

▶問合せ TEL090-9638-9572(代表・佐藤)

チームオレンジ「ひまわり」

認知症当事者メンバーと一緒に、認知症カフェのスタッフや健康



教室への参加、啓発グッズの作成などを行っています。

認知症高齢者等見守りシール活用事業について

認知症などの症状により行方不明となるおそれのある方の衣服や持ち物に、二次元コードが印字されたシールを貼り、万が一行方不明となった際、保護時の連絡や身元確認を支援するものです。



市ホームページ▶

認知症初期集中支援チームが支援します

認知症は誰にでも起こり得る病気です。早期に受診・対応することで、重症化の予防や軽減が期待できます。チーム員が自宅へ訪問し、最長6カ月間を目安に、医療機関受診や介護サービス利用のサポート、ご家族の介護負担軽減などの支援を中心に行います。